

ネットワーク化事業

信楽訪問看護ステーション

NPOみなくち訪問看護ステーション

滋賀県甲賀市の特徴



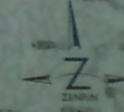
- 平成16年10月1日5町合併
- 人口約95,683人(H20、3)
- 高齢化率21.1%
- 信楽町高齢化率20.9%(合併前値)
(平成37年度予測では24.4%)
- 水口町高齢化率15.4%(合併前値)
(平成37年度予測15.1%)
- 県土14%の広い面積

索引図



凡例

152	水口
88	山工
81	伊賀
87	信樂
147	伊賀



1:200,000

ステーション設置状況

- 水口町に3ステーション
- 信楽町には1ステーション
- 信楽隣接の甲南町にはステーションなし
- 信楽町訪問看護ステーションは常勤換算
2.5人の小規模ステーション

* 一番近い当ステーションが信楽への訪問を受けることが増えてきていた。

信楽町への訪問の問題点

- 遠い。15km以上
- 往復で最短40分はかかる。山の上に位置するので冬は雪や凍結の危険。
- 信楽へつながる道は国道307号線1本のみ。
- 往復の時間が無駄になるので(時間・燃料)車中で昼休憩をとることが増えていた。
- サテライトを設置するほどの件数はない。

信楽訪問看護ステーションの体制

- 常勤換算2.5人。
- 人数が少ないため、24時間対応とれず。
- 月～金、8:30～17:15の対応。
- 土日祝日の訪問は基本的にはなし。状況により、対応していた。

信楽と連携することで

- 土日祝日の対応や24時間連絡体制を取ることが可能になり、ターミナルや精神疾患などの困難ケースに対応することができる。
- 退院促進
- 訪問看護の充実。
- 経費削減。
- 利用者確保。
- 運転にかかるスタッフの負担減

内容

- 信楽町居宅介護支援事業所にPR
- 医師には指示書受け取りの際に説明
- 信楽ステーションの事務所を借り、休憩や記録、情報共有
- 信楽ステーション(平日)、NPOみなくち(休日)対応での連携訪問。
- 一部記録様式の統一。(連携した利用者に限る)

結果



結果

- 利用者増 5人→12人(NPOみなくち)
 - 土日、祝日、年末年始対応ができた。
 - 24時間連絡対応、緊急時訪問加算が取れる利用者ができた。実際対応した。
 - 土日、祝日年末年始に看護師が訪問することを条件に退院できた利用者があった。
(精神疾患をもつ息子と二人暮らしの認知症で病状不安定なケース)
- * 今回は事業開始後の新規利用者に限り24時間や休日の対応とした

- 収入増
- スタッフの運転にかかる負担感減
- 信楽ステーションのベテラン看護師との交流により、信楽の地域性や医師との関係などの情報を得ることができた。
- 訪問看護の充実。

- もっと時間がかかけられれば、連携し対応可能な利用者は増える。
- 24時間対応を使いこなれていなかったケアマネージャーのもその意義や使い方を理解してもらえる。
- 5町別々に対応するのではなく、今後は広いこの地域全体をフォローできる体制を6ステーションで模索していきたい。